



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 日 油 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 沢村 孝司  
 (コード：4403 東証プライム市場)  
 問合せ先 執行役員 コーポレート・コミュニケーション部長 浜本 順子  
 (TEL 03-5424-6651)

## 2026 年 3 月期通期の連結業績予想修正及び期末配当予想修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 11 月 6 日に公表した連結業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	258,400	46,000	48,300	38,200	166.18
今回修正予想 (B)	260,500	46,000	49,500	39,400	171.21
増減額 (B－A)	2,100	－	1,200	1,200	
増減率 (%)	0.8	－	2.5	3.1	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	238,310	45,308	46,572	36,497	153.88

(参考情報：報告セグメント別内訳)

(単位：百万円)

	機能化学品		医薬・医療・健康		化薬	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表予想 (A)	148,000	27,000	50,800	16,000	59,000	6,400
今回修正予想 (B)	147,200	27,000	49,800	15,000	62,900	7,200
増減額 (B－A)	△800	－	△1,000	△1,000	3,900	800
増減率 (%)	△0.5	－	△2.0	△6.3	6.6	12.5
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	150,915	29,797	48,033	15,697	38,775	3,130

## 2. 修正の理由

通期の業績予想につきまして、第3四半期連結累計期間の実績および第4四半期の見通しを踏まえ、前回発表予想を修正いたします。

医薬・医療・健康事業のDDS医薬用製剤原料は、一部顧客における上市製品の市場展開が想定よりも遅延していることを受け、需要が減少し前回発表予想を下回る見込みです。化薬事業の防衛関連製品は、早期装備化の初度費に係る一部取引（履行義務に応じて収益を認識する契約取引）において、想定よりも工事が進捗することから、前回発表予想を上回る見込みです。

第3四半期連結累計期間までの進捗、需要見通しおよび為替レートの見直しなどにより、通期の売上高、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回る見込みです。

業績予想の前提となる通期の想定平均為替レートは、前回発表予想の想定レートである米ドル147円、ユーロ170円から、米ドル150円、ユーロ173円へ変更しております。

前回発表予想との営業利益差異内訳は別紙をご参照ください。

## 3. 期末配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想（2025年11月6日公表）	—	26円00銭	52円00銭
今回修正予想	—	35円00銭	61円00銭
当期実績	26円00銭	—	—
（ご参考）前期実績（2025年3月期）	21円00銭	24円00銭	45円00銭

## 4. 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識し、配当額の維持向上と機動的な自己株式取得・消却に努めております。

上記の方針および本日発表いたしました業績、財務状況などを総合的に勘案し、期末配当予想を前回発表予想の1株当たり26円から9円増配し35円に引き上げることといたします。これにより、年間の1株当たり配当予想は前回発表予想より9円増配、前期実績より16円増配の61円となります。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上

## 2026年3月期通期連結営業利益予想の差異内訳

(単位:億円)

	前回発表予想	差異内訳				今回修正予想
		増減販	変動費	固定費	計	
機能化学品	270	※1 4	※1 △4	※2 △0	—	270
医薬・医療・健康	160	※3 △11	※3 △1	※4 2	△10	150
化薬	64	7	△0	※5 1	8	72
その他・調整額	△34	△1	—	3	2	△32
合計	460	※6 △1	※6 △5	※7 6	—	460

※1 機能化学品事業の増減販および変動費には、計+0億円の為替影響を含む

※2 機能化学品事業の固定費には、計+2億円の棚卸影響を含む

※3 医薬・医療・健康事業の増減販および変動費には、計+3億円の為替影響を含む

※4 医薬・医療・健康事業の固定費には、計+4億円の棚卸影響を含む

※5 化薬事業の固定費には、計△2億円の棚卸影響を含む

※6 合計の増減販および変動費には、計+4億円の為替影響を含む

※7 合計の固定費には、計+4億円の棚卸影響を含む